

岩手セラピー研究会より特別セミナー開催のご案内

この度、「muscle pain relief 上肢へのアプローチ」をテーマに、首都大学東京の教授であり、数多くのメディア出演もされております理学療法士の竹井仁先生を盛岡にお招きし、研修会を開催する運びとなりました。岩手での開催は今回が初めてになります。関西・関東では常にキャンセル待ちの人気セミナーにつき、今回もお申し込みが殺到する事が予測されます。早めにお申し込み頂き、是非この機会に受講して頂ければと考えております。下記セミナー要項をご確認の上、お申し込み頂きますようお願い申し上げます。

記

特別セミナー 「Muscle pain relief 上肢へのアプローチ」

竹井仁先生プロフィール：首都大学東京健康福祉学部理学療法学科教授

医学博士 理学療法士 OMT 首都大学東京健康福祉学部理学療法学科などの教育機関で 学生教育を実践する傍ら 病院と整形外科クリニックにおいて臨床も実践。各種講習会も全国で展開中。

専門は運動学・神経筋骨関節系理学療法・徒手療法。解剖学にて医学博士取得。

メディア出演：「世界一受けたい授業」（日本テレビ）「名医にQ」（NHK）「はなまるマーケット」（TBS）「カラダのキモチ」（TBS）「主治医が見つかる診療所」（テレビ東京）その他多数

Muscle pain relief (MPR)

筋・筋膜痛をきたしている身体分節を、他動的に最も痛みが少ない楽な姿勢をとらせることで、痛みを生じさせている不適切な固有受容器活動を減少もしくは抑制し、痛みを軽減する方法である。MPRでは、筋力のベクトルが収束する、深筋膜上の明確な点である協調中心（centre of coordination：CC）を治療対象とする。これらの協調中心は、一方向性の分節運動の協調性に関与している。

その協調中心が機能異常によって高密度化すると、発痛点として圧痛を生じる。その発痛点は関連する領域に関連痛を生じさせる。その領域が認知中心である。まず、筋骨格系の特定の部位における発痛点を確認し、診断にも治療用のモニターとしても使用する。ある発痛点が確認されたとき、圧痛と治療者が感じ取る組織の過敏さの両方が減少する姿勢を選択する。この姿勢で約90秒～2分間保持する。その後、患者をゆっくりと正常な姿勢に戻し、再評価を行う。錐内筋線維と錐外筋線維の長さの関係が回復すると筋は静止時の筋緊張を増加させることなく関節をその正常な安静肢位に戻すことが可能となる。以上のことから、MPRは、異常を起こした α - γ 連関や他の関節受容器の誤情報を修正し筋筋膜の正常な緊張状態を取り戻そうとする治療法といえる

日時：平成26年8月2日(土)10:30～16:30、[10時より受付開始] 8月3日(日)9:30～16:30

会場：岩手教育会館〔盛岡駅より徒歩15分程度〕 1日目：第3会議室 2日目：第1会議室

テーマ：「muscle pain relief 上肢へのアプローチ」 理学療法士 竹井 仁先生

定員：先着40名 残り30名

受講費：15,000円 懇親会：3,000円程度

持ち物：筆記用具、ヨガマットかバスタオル 上半身を露出しますので女性はセパレート等の準備をお願いします。

参加申し込み：①職場、職種、氏名 ②経年数 ③受講希望のセミナー名 ④緊急連絡先 以上4点を記載の上、下記メールアドレスにご送信下さい。メールにて受付後、受講費振り込み手続きに関して折り返しメール致します。尚、会場の都合により定員になり次第受付を終了致しますのでご了承下さい。

iwate.therapy@gmail.com

お問い合わせ：上記メールアドレスに送信下さい。また、詳しい内容、今後のセミナー情報等につきましては下記HPよりご確認下さい。



研究会 HP: <http://www.iwate-therapy.com/>